

社会で輝く子供を致芳から～地域で育てる致芳っ子～

山形県長井市		●活動名 致芳小学校地域学校協働本部			●関係する学校名 長井市立致芳小学校		
協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成27年4月1日設置	地域学校協働本部	有		
活動区分	学校支援活動		—		—		
	—		放課後子供教室		—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数		
	—		—		1人		
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	無		
	32人						
参考URL	http://www.city.nagai.yamagata.jp/						
●連絡先	長井市教育委員会 文化生涯学習課			☎ 0238-84-7677			



●活動の概要・経緯

本地域学校協働活動では、学習支援や子供の見守り等に学校支援ボランティアを導入し、効果的な学習活動と地域教育力の活性化を目指している。主な取り組みとしては、①地域伝統芸能伝承活動、②学校行事協力、③学習支援、④放課後子供教室、⑤登下校安全指導、⑥環境整備がある。それぞれの活動において、地域の方々の協力を得て上記の目的に沿った活動を行っている。

致芳小学校では、平成26年度から「学校支援地域本部」として事業を開始し、社会教育法の改正を受けて平成30年度から「地域学校協働本部」とするとともに「地域コーディネーター」から「地域学校協働活動推進員」として委嘱し、地域と学校をつなぐ役割としての位置づけを確かなものになっている。また、平成27年度には、市内で一番最初に学校運営協議会を設置し、より地域住民と学校の連携協働を進めている。

●活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

致芳小学校の特色ある活動の一つに「少年少女五十川(いかがわ)獅子踊り」がある。この活動は40年以上続いており、年4回、保存会の方々をお師匠様として迎え練習会をしている。毎回10名ほどの指導者が熱心に子供に教えており、それに応えるように子供も真剣に学ぼうとする姿が見られる。10年前に元々の「五十川獅子踊り」の奉納は途絶えていたが、保存会が児童への指導を絶やさなかったことで気運が高まり、若い世代が加わった地域の団体により「五十川獅子踊り」も昨年復活している。5年生が行う葉山登山は、地元の山岳会の協力を得て行っている。片道2時間以上かかる険しい山だが、山岳会の協力のもと毎年、安全に実施されている。他にも、月1回程度、地元語り部の会からの昔語りや「放課後致芳っ子ひろば」なども行っており、児童は頻繁に地域の方々との関わりを持つことができている。

【実施に当たっての工夫】

実施にあたっては、地域学校協働活動推進員が子供たちの実態を把握し、活動のねらいを確認して学びの向上を図っている。また活動の始まりの経緯や歴史的な背景について代表の方々に来ていただき事前学習を行ったり、活動の後には感謝の会をしたりするなど継続的に活動ができるように心掛けて取組んでいる。このような事前事後までの指導を地域学校協働活動推進員の連絡調整のもと一貫して行われ、子供たちの郷土愛を育むことにつながっている。

【関係機関・団体等との連携状況】

学校運営協議会において前年度の活動の報告や情報の共有、次年度に向けての意見交換等を行い、学校側の意見のみならず地域の方々からの意見も反映させることで、さらに良い活動になるようにしている。また、地区のコミュニティセンターとも日頃から連携を図ることで、学校と地域の結びつきがより深まるよう取組んでいる。

●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

年間を通して保護者、祖父母の協力や地域団体、警察などと幅広く連携しながら活動を行ってきたことで、より一層学校と地域の結びつきを強めることが出来ており、地域の方々も充実感を得ることができている。また、放課後子供教室や伝統文化継承活動等で専門の知識や技能を持っている方を講師に迎えることで、教師では指導の難しいところや学校ではなかなか体験できない活動の機会を提供することができている。さらには地区コミュニティセンターに児童たちの活動の様子をパネルで展示し、学校に直接関わりがない地域の方にも子供たちの様子を伝えることで、地域に開かれた学校となっている。

●その他

スキー教室、あいさつ運動、授業補助など



昔語り部の会による



見守り隊による